

## ナラティブ・アプローチによる事例検討 ～スタッフ用ガイド～

### <はじめに>

以下の3つの点に注意して、事例を読んでみましょう。

- ・その人の思いに焦点をあてること
- ・表現に着目して思いを察してみること
- ・間違った意見はありません。自由に意見を出してください。

### <導入>

Q：誰がかかわっていますか？

：事例を読んで「気になった」ところはどこでしょうか。

なぜ「気になった」のでしょうか。なぜそのような事態になったのでしょうか。

：「わたし」の気持ちを考えてみましょう。

：その人物の言葉が少ない、要約されているなど、事例の中でそれぞれの登場人物が、どのように描かれて（表現されて）いるか気を配ってみましょう。

### <気づくべきポイント>

#### \*何が倫理的な問題か、誰にとっての問題なのかに気づく

- ・運営する・終わらせることに焦点が当たっており、対象者を第一に考えていないこと。

#### \*潜在的な思いに気づく

- ・時間的に間に合わせなくてはいけない、という焦りがあったこと。
- ・自分に自信が無いなかで行なっていたこと。
- ・自分自身で解決しなくてはいけないと思っていたこと。

#### \*法制度、社会規範、文化、社会構造など、関連している要因に気づく

- ・医師が丁寧な診察をしていないかもしれない状態を放置していること。
- ・健診中も相談できる体制をつくる必要があること。
- ・サービスの質を保障するために、体制を整えていく必要がある。

#### \*語られていない登場人物の声や思いに気づく

- ・対象者の気持ちが表現されていないこと。

⇒これらに気づかない時は、投げかけるような質問をする。

「時間がなかったのかもしれないですね」

「医師のことをすごく信頼しているんですね」

「医師はどのような診察をしているのでしょうか？」

「早く終わらせることに注意が向いているのじゃないかしら」

「誰のために健診を行なっているのでしょうか」

「どうすれば良かったのでしょうか」

「何があれば上手くいったのでしょうか」 など

### <まとめ>

Q：どのようにすべきだったでしょう？ どうあればよかったですでしょう？

：実践でどう役立てられますか？ どう役立てようと思いますか？

：今回の検討をやってみてどうでしたか？